

2007年度[第76期]

NECネッツエスアイ株式会社 決算説明会

2008年5月15日

NEC Networks & System Integration Corporation

Contents

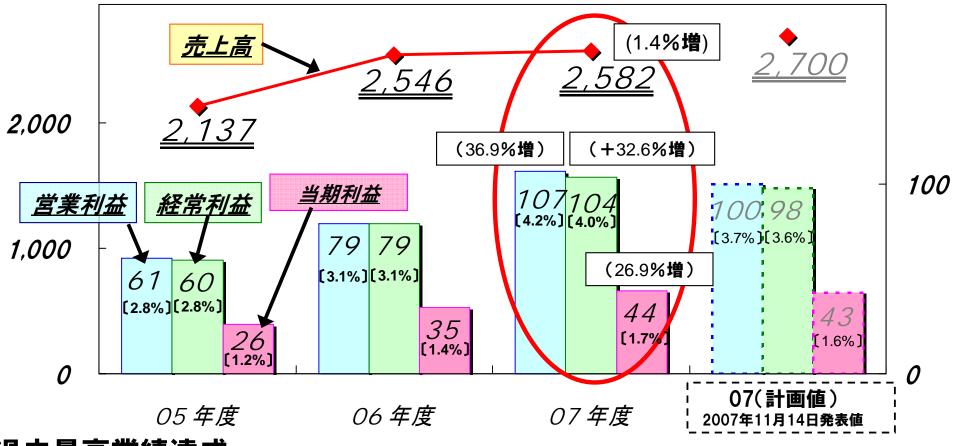
1. 2007年度 決算概要

Ⅱ. 2008年度 見通し

1. 2007年度 決算概要

売上高・損益推移

(単位:億円)



過去最高業績達成

※〔 〕内は売上高比

<u>収益性改善</u>

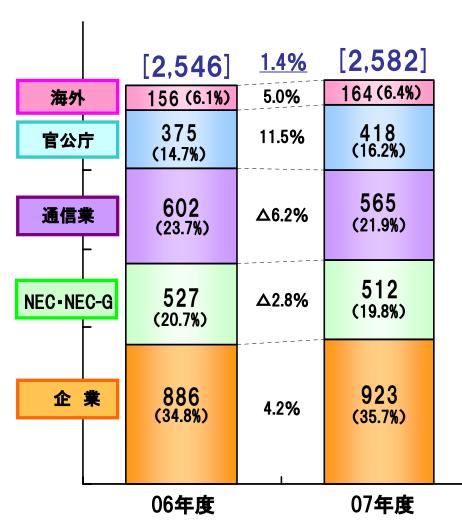
- →AC-I活動定着(全社活動)
- →プロセス改革活動促進

〔売上総利益率の改善→前年比○.7ポイント〕

※AC-I活動

ALL Cost & Management Innovationの略。 原価低減活動のみならず、タイムマネジメント等 効率化までも含めたトータルコスト改革活動。 当社では4年前から全社で活動中。

連結売上高(マーケット別)



海外

通信工事堅調

- ・アジア地域(パソリンク等)
- ・サウジアラビア

官公庁

中央官庁関連事業

・宇宙、郵政関連等 地域公共ネットワーク整備事業堅調

通信業

移動体基地局工事減

・MNP制度導入関連一巡 交換機保守減

企 業

EmpoweredOffice関連展開開始

- ・オフィス移転関連増 公益企業向け通信インフラ整備増
 - ・電力、ガス、CATV関連

2007年度最重要施策

企業向けマーケット拡大施策

中堅企業向けソリューション「EmpoweredOffice」展開開始

〔年間目標50億円→売上実績70億円〕

・2007年8月次世代体感スペース「EmpoweredOffice Center」開設

EmpoweredOffice Center

『コミュニケーション&コラボレーション改革』

『管理·運用業務改革』

『オフィス環境改革』

を支援し、お客様の企業力アップを実現

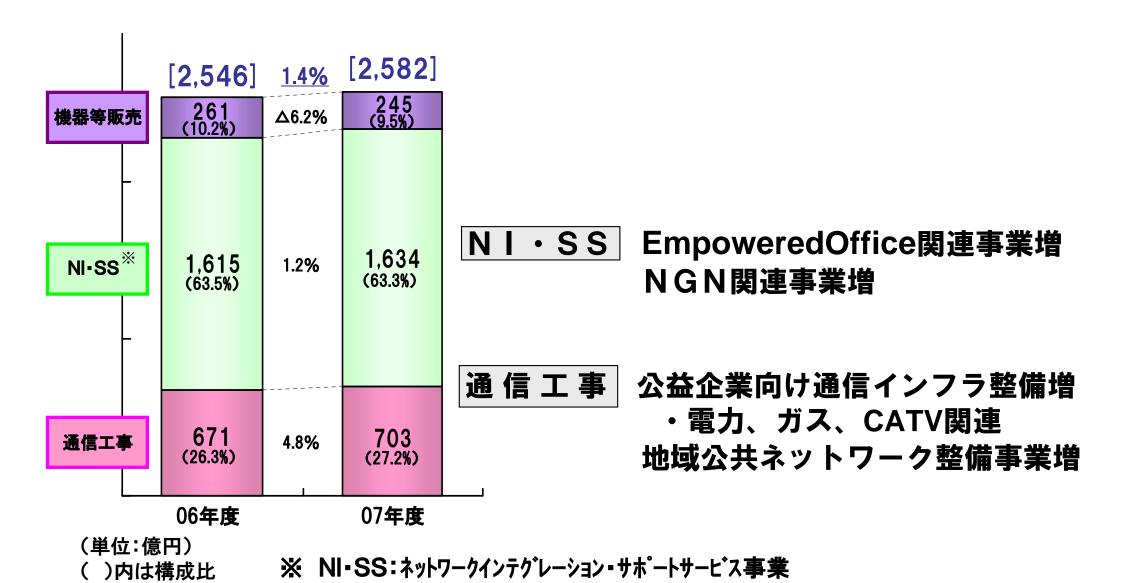


営業フロアのモデルオフィス化

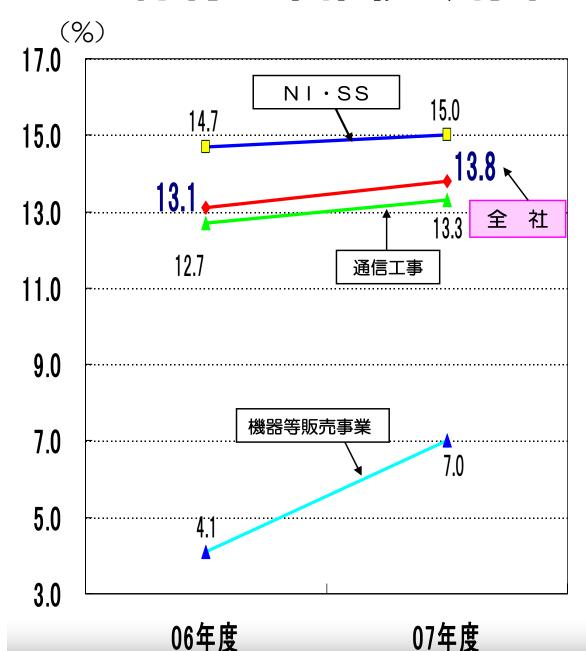




連結売上高(セグメント別)



総利益率推移(前年比0.7ポイント改善)



AC-I活動定着(全社活動)

 $NI \cdot SS$

- ・プロセス見直し
- ・NI工程見直し

通信工事

- ・プロジェクトマネジメント強化
- ・後戻り工数削減
- ・コンカレントエンジニアリング 強化

機器等販売

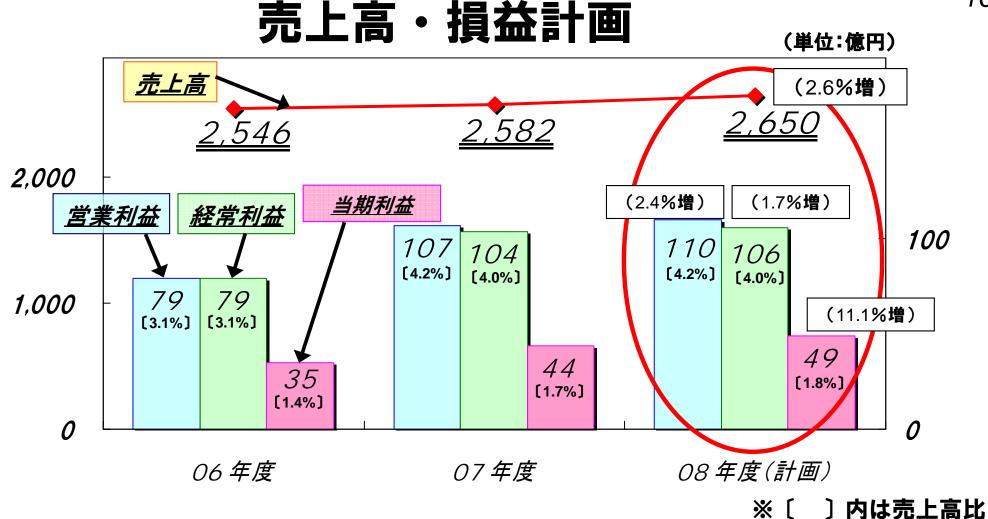
・機器の原価低減実施

[参考]年間連結業績

(単位:億円)

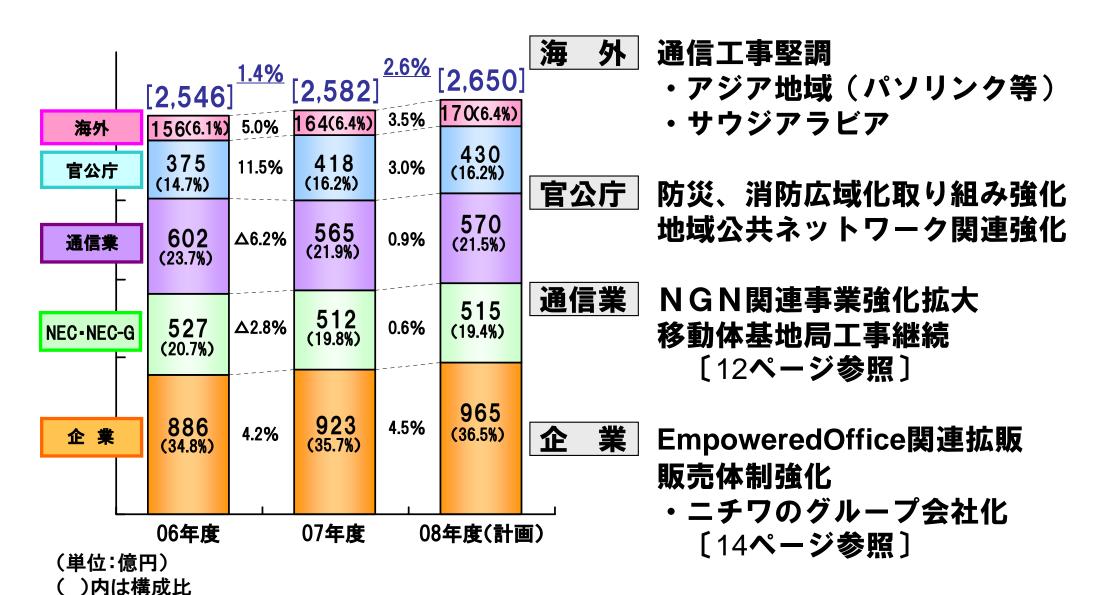
	06年度		07年度		増減率
		売上比		売上比	
売 上 高	2,546	100.0%	2,582	100.0%	1.4 %
売上総利益	333	13.1%	356	13.8%	0.7ポイント 改善
営業利益	79	3.1%	107	4.2%	36.9 %
経常利益	79	3.1%	104	4.0%	32.6 %
当期純利益	35	1.4%	44	1.7%	26.9 %

||. 2008年度 見通し



原油高、素材高、円高など 市場環境は厳しい中でも<u>増収増益を計画</u>

連結売上高計画(マーケット別)



1. 通信キャリア市場

事業環境

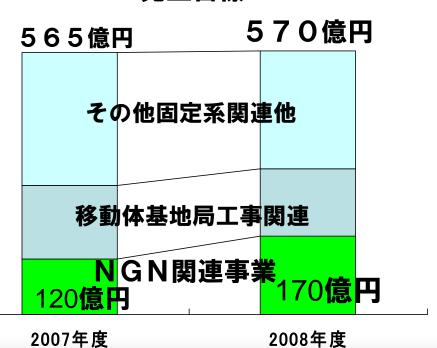
- ・通信事業者の設備投資横這い
- ·NGN関連設備投資本格化

約7900億円 約7900億円 2007 2008 (2008.4 ミック経済研究所)

NGN関連市場(国内・海外)

拡大施策

売上目標



目標

NGN関連事業強化拡大

NGNラボ活用による人材育成

NI・SS事業拡大

移動体基地局工事継続

WiMAX関連工事参入 基地局建設工事の強化継続

"NGN Laboratory(NGNラボ)"

2008年2月『NGN Laboratory(NGNラボ)』を開設

- 1. EmpoweredOfficeと連携した新たなNGNサービスの創出
- 2. キャリアグレードの実機を使った実践的なNGN技術者育成 [目標:2010年 1300名体制]
- 3. ラボ評価設備を活用したSI・保守作業品質の向上



2. 企業向け市場

事業環境

- ・情報関連投資は堅調
 - →首都圏における新築商業ビルの増加
 - →金融機関の設備投資は拡大傾向

但し、先行きの不透明感有り

日銀展望レポート(4.30発表)

- ・実質成長率
- 1 %台<u>半ば</u>→1 %台<u>後半</u>

(08年度) (09年度見通し)

今後穏やかな成長の兆し

拡大施策

売上目標 965億円 923億円 E/O関連 NI事業 SS事業 通信工事事業 機器等販売事業

EmpoweredOffice(E/O)拡販

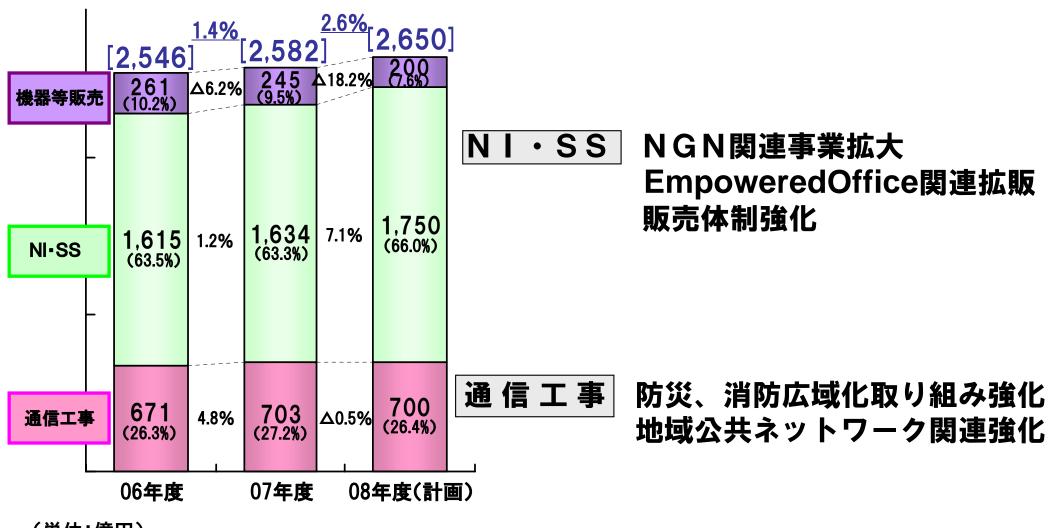
オフィスビル移転需要の取り込み(東名阪) 企業力UP + 環境対応中心 中堅企業向け提案活動強化 〔70億円 → 目標90億円〕

販売体制強化

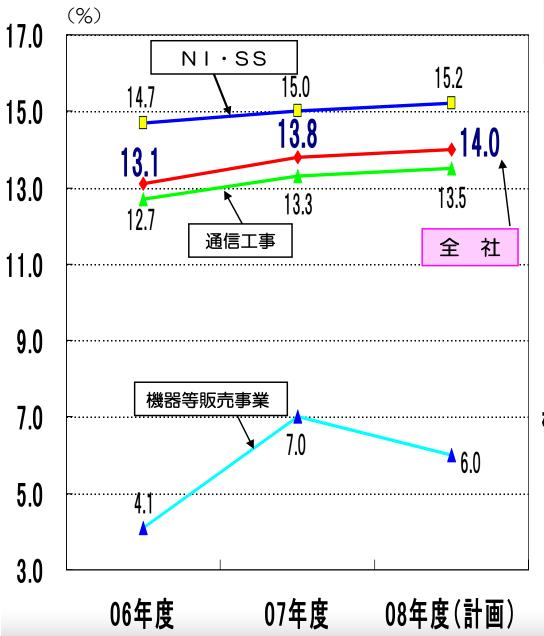
E/O活用による営業力強化 関西地区の強化 ニチワの子会社化

2007年度

連結売上高計画(セグメント別)



総利益率計画



原材料等のインパクトを吸収し、 さらに改善を計画

NI・SS および 通信工事 従来からのAC-I活動(全社活動)

> 十 個別プロセス改革強化

機器等販売

- ・原価低減活動継続強化
- ・機器調達コストの上昇懸念

[参考]年間連結業績計画

(単位:億円)

	07年	F度	08年度(計画)		増減率
		売上比		売上比	
売 上 高	2,582	100.0%	2,650	100.0%	2.6 %
売上総利益	356	13.8%	371	14.0%	0.2ポイント 改善
販売費および 一般管理費	248	9.6%	261	9.8%	5.2 %
営業利益	107	4.2%	/110	4.2%	2.4 %
経常利益	104	4.0%	106	4.0%	1.7 %
当期純利益	44	1.7%	49	1.8%	11.1 %

戦略的な投資を計画

「M&A・情報インフラ整備・人材育成」等

内部統制機能の強化

- 1. 金融商品取引法(J-SOX法)導入への対応
 - ・US SOX法経験をベースに社内体制は整備済み
 - →財務諸表の適正性確保
 - ・「経営品質委員会」新設
 - →社長直轄
 - →法令遵守、内部統制、リスク管理をモニター
- 2. コーポレートガバナンス体制の強化

社外取締役の増員 1名→2名へ」



経営の透明性を確保

※6月開催の株主総会の承認をもって就任予定

配当予想

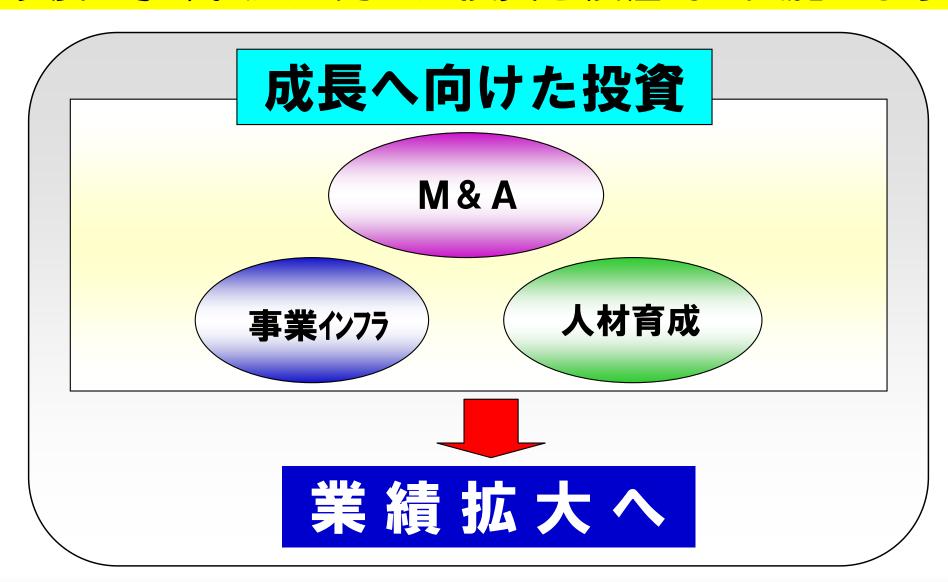
2009年3月期の配当予想

	1株あたりの年間配当金(予想)				
		中間期末			
	円銭	円銭	円銭		
2009年3月期	22.00	11.00	11.00		

〔参考〕2008年3月期の配当

	1株あたりの年間配当金				
		中間(実施済み)	期末		
	円銭	円銭	円銭		
2008年3月期	20.00	10.00	10.00		

今後も事業拡大へ向けた投資を積極的に実施します



NEC

NECネッツエスアイ株式会社

NEC Networks & System Integration Corporation

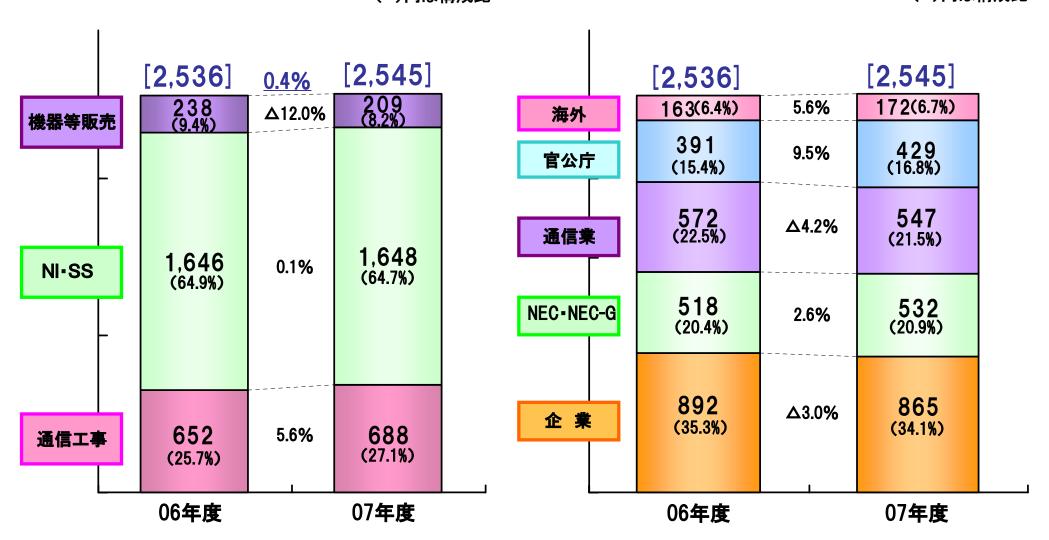
www.nesic.co.jp

(参考)

2007年度 受注高(連結)

セグメント別

(単位:億円) マーケット別

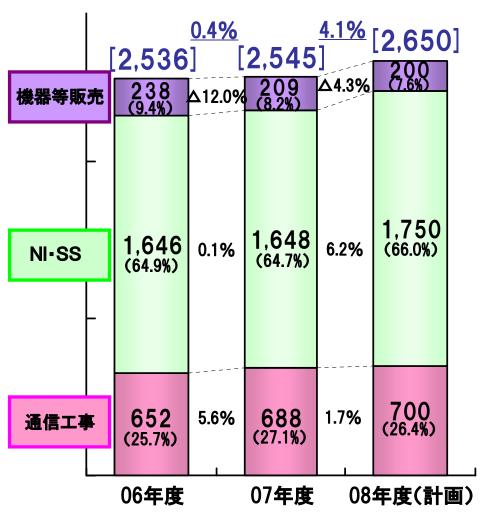


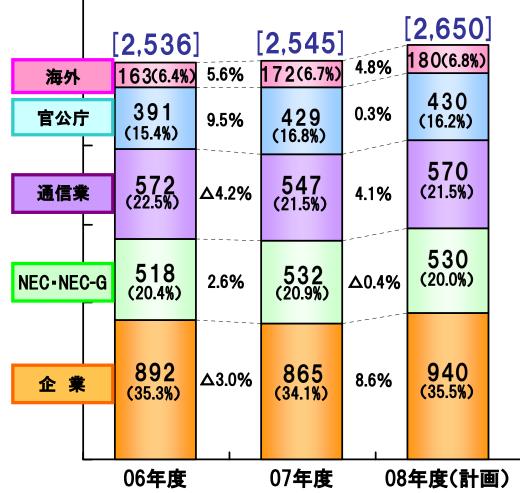
(参考)

2008年度 受注高計画(連結)

セグメント別

(単位:億円) マーケット別 ()内は構成比



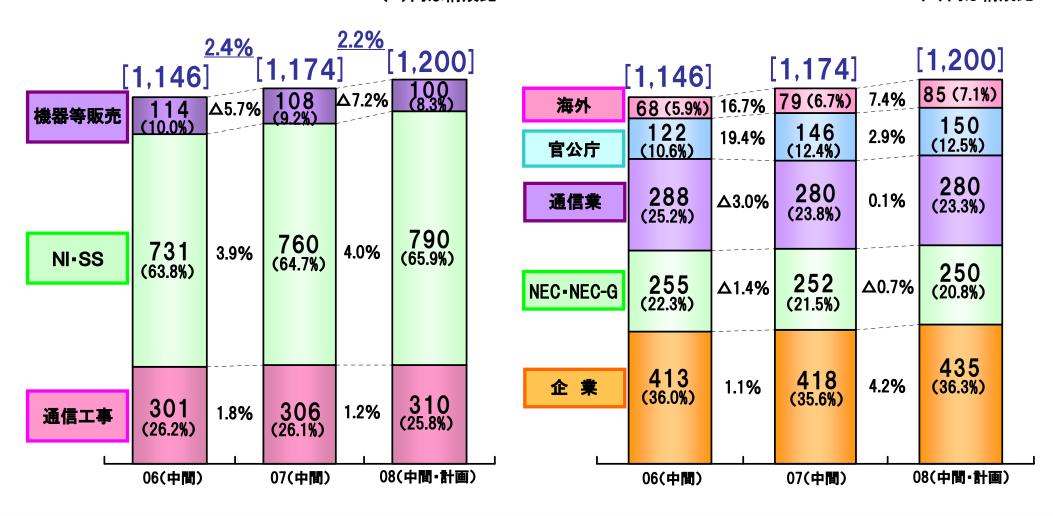


2008年度 売上高計画(連結・中間期)

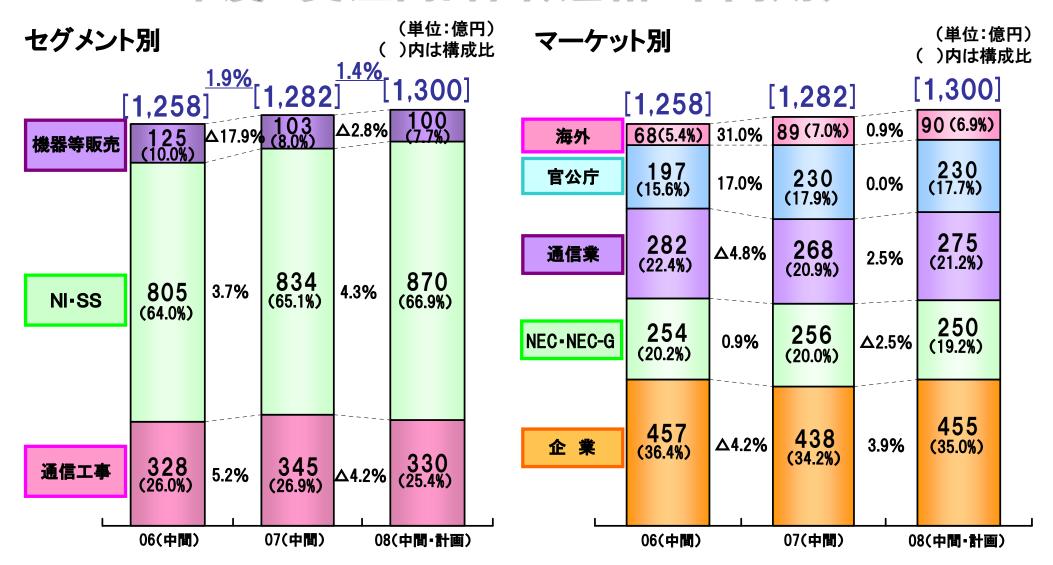
セグメント別

(単位:億円) ()内は構成比

マーケット別



2008年度 受注高計画(連結・中間期)



(参考)

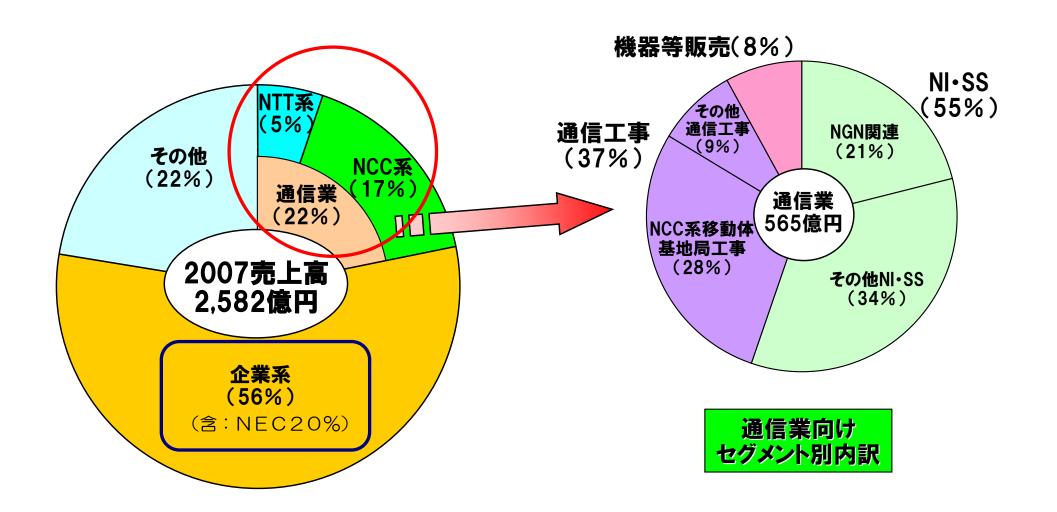
2007年度 得意先別売上高(連結)

(単位:億円)

	1757613	<u> </u>	<i>) <u> </u></i>			(単位:18月)
	06年度		07年度		比較 <u>増減</u>	
		構成比		構成比		増減率
官公庁	375	14.7%	418	16.2%	43	11.5%
通信業	602	23.7%	565	21.9%	△ 38	△6.2%
固定系	86	3.4%	73	2.8%	Δ 13	△15.3%
電力系	39	1.5%	35	1.4%	△ 4	△10.3%
移動体系	335	13.2%	310	12.0%	△ 25	△7.6%
その他	142	5.6%	147	5.7%	5	3.5%
NEC・NECグループ	527	20.7%	512	19.8%	Δ 15	△2.8%
金融業	183	7.2%	243	9.4%	60	33.0%
流通・サービス業	202	7.9%	200	7.8%	Δ 2	△0.9%
放送業	113	4.4%	108	4.2%	Δ 6	△4.9%
企 業	389	15.3%	373	14.3%	△ 16	△4.1%
海外	156	6.1%	164	6.4%	8	5.0%
合 計	2,546	100.0%	2,582	100.0%	36	1.4%

(参考)

2007年度 通信業向け売上高(連結)



本資料についてのご注意

本資料(「2007年度(第76期)決算説明会」)に記載されている 将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に 基づかないためにリスクや不確定要因を含んでおります。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り 巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービス に対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などで あります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

NEC

NECネッツエスアイ株式会社

NEC Networks & System Integration Corporation

www.nesic.co.jp